

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 藍住南小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等教育学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒771-1202

徳島県板野郡藍住町奥野字和田95

E-mail : ainan@mail.netwave.or.jp

Website : http://e-school.e-tokushima.or.jp/aizumi/es/aizumiminami/html/htdocs/

児童生徒数：男子 304名 女子 330名 合計 634名

児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

≪伝統文化≫

● 藍染め

[第3学年・第4学年]

藍の館（藍住町藍染め体験館）で、身近な道具を使った簡単なしぼり染めを体験した。

[第5学年]

藍建てを体験し、藍の世話を継続し、藍染めに取り組んだ。筒描きでバンダナを染めたり、和紙を染めてうちわを作成したり、6年生にTシャツの染め方を教えてもらいオリジナルTシャツを作成した。



[第6学年]

○今までに身につけた藍染めの様々な技法を活かした作品づくり

・生葉のたたき染めをした後
グラデーションで染めたお弁当包み



・糸で縫った絞り染めの
ハンカチから作った箸袋



・藍染めの表紙の卒業文集制作



・藍染めの卒業共同制作



○「藍の館」でのボランティア

毎年お盆に校区内の藍染め体験館「藍の館」で染めのお手伝いや、館内の案内等のボランティアをしている。今年も4日間で40人以上児童が5年生の時に自分で染めたTシャツを着て参加した。



● 阿波踊り

5・6年生児童全員が運動会で阿波踊りに取り組んだ。阿波踊りの起源について学習した後、「AWA DANCE クラブ」が中心になり鳴り物を担当し、練習を重ねて、運動会当日、自分で作った藍染めのバンダナうちわを持って踊った。



● 発信

藍住南小学校で自分たちが取り組んでいることを世界へ発信できないかと考え、卒業生のSさんに協力をお願いして、フランスと交流する計画を立てた。

月日	計画	どんな方法で発信するか考える
10・4	グループ分けと計画・準備	・DVD作成 ・プレゼント作成（毛筆作品・折り紙・しおり） ・メッセージ作成
10・11	準備	・各グループ準備をする。 ・藍のTシャツを着てファッションショー（ビデオ撮影）
10・18	Sさんにメッセージ等を託す	それぞれラッピングし、Sさんに渡す

DVD作成のチームは、必要な写真を撮影したり、照明を当て動画を撮って編集したりと他の学習ではできない体験をした。

プレゼント作成のチームは、日本ならではの物を用意しようと、毛筆作品や折り紙作品を作ったり、藍の布を使ってしおりを作成したりした。

メッセージ作成のチームは、藍住に興味を持ってもらえるような内容のメッセージをたくさん書くことができた。



こうして仕上がったものをSさんに届けてもらうために、簡単な手渡す式をしたが、児童の一生懸命さにSさんも涙ぐんでくださった。

その後、Sさんはフランスへ旅立ち、児童のメッセージを届けてくださり、返事をもることができた。まだ交流先は確定していないが、継続していきたい。

《環境》

環境委員会がペットボトルキャップおよびプルトップの収集を呼びかけ、学校の電力と水の消費量の推移の調査をし、省電力の啓発活動をした。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）